

進路相談員だより

第10号(保護者・教員の皆さんへ)

令和7年1月9日発行

北海道教育庁根室教育局

－ 根室管内新規高卒者の就職内定状況について －

高校卒業年月	求人数				就職希望者数				管内求人倍率(倍)
	管内	道内	道外	全体	管内	道内	道外	全体	
令和7年3月卒	388	84	11	483	95	11	1	107	3.63
令和6年3月卒	364	81	6	451	103	20	3	126	2.89
前年差	+24	+3	+5	+32	△8	△9	△2	△19	+0.74

(ハローワーク根室 令和6年11月末より)

こちらは、ハローワーク根室が取りまとめた「令和7年3月 高等学校卒業者の職業紹介状況」です。今年度の求人数は、管内、道内、道外を合わせて483件で、前年差32件の増となっています。管内求人倍率は、求人数が増加し就職希望者数が減ったことから0.74ポイント増の3.63倍となりました。

高校卒業年月	内定者数				未内定者数				就職内定率
	管内	道内	道外	全体	管内	道内	道外	全体	
令和7年3月卒	67	10	1	78	28	1	0	29	72.9
令和6年3月卒	79	12	2	93	24	8	1	33	73.8
前年差	△12	△2	△1	△15	+4	△7	△1	△4	△0.9

(ハローワーク根室 令和6年11月末より)

内定率は、昨年を下回っています。未内定生徒がもれなく希望職種に就けるよう今後も就職活動支援をお願いいたします。

1 就職が内定した生徒の心構えと準備

- (1) 内定後から入社前までにやってみるとよいこと
 - ・入社準備をする。(仕事に関する勉強、資格取得、会社の理念や事業内容の確認)
 - ・ビジネスマナーを習得する。(講座等があれば受講)
 - ・学校の許可のもと、アルバイトを通して実社会で働くことを体験する。
 - ・健康管理に留意し、早寝早起き、適度な運動で体調を整える。
- (2) 家庭内での準備とサポート
 - ・家庭でも内定した企業について話し合う。
 - ・実際の仕事について詳細を理解できるよう情報を収集する。
 - ・入社後を考えて精神的、肉体的な体力作りを行う。
 - ・保護者として行き過ぎないアドバイス、助言等をさりげなく伝える。



2 保護者として未内定の生徒への関わり方

- (1) 保護者だからこそお子様のペースを信じ、お子様の気持ちを理解し、じっくり労い励ましながから見守る。
- (2) 保護者の方から積極的にあれこれとアドバイスや条件を提示することは控える。
- (3) 保護者の世代と今のお子様の世代では、就職活動の状況が異なっていることに留意が必要です。アドバイスをする際は、現在の就職活動の方法や雇用などの働き方の変化について調べて理解する。
- (4) 自分の身は自分で守る力が必要です。お子様が自分の意思で仕事を決める経験がないと、急に会社を解雇されることになったときやミスマッチ等によりやむを得ず離職することになったときに、その難局を乗り越えていくのは難しくなります。よって、「お子様がやりたいこと・やれること」を理解しておくことが大切です。
- (5) お子様へアドバイスをする前に、
 - ・まずは、お子様の話を聞く。
 - ・そのアドバイスが本当にお子様の為なのか考える。
 - ・自分の為ではないか(保護者自身の都合ではないか)と問い質す。
 - ・それは現在の情報か(過去の価値観にとらわれていないか)を問い質す。
 - ・決めつけ押しつけになっていないか問い質す。
- (6) これから就職をして人生を歩んでいくのは保護者ではなく、就活をしているお子様です。悩みながらも自分で選択して進むから、どんな状況にも責任が持て自分の気持ちと向き合いながら、折り合いをつけつつ頑張っていけるのではないのでしょうか。保護者が苦労し後悔した過去ではなく、乗り越えてきた経験に目を向け、お子様が困難を乗り越える力に期待してください。お子様に困難を乗り越える力を身に付けさせてあげることが、本当の意味で苦しみから守る事に繋がります。



*** お子様の自主性を重んじながらも、答えを見つけるための手助けをしてあげてください。**